

# 福ちゃんの第5回阿武隈高地(鎌倉岳)放射線量測定の手歩き記



発行日:2015.05.10.

発行者:福間幸夫

鎌倉岳・山行記録(国道288号 福島交通バス停「山根小学校前」⇔鎌倉岳・往復 山行記録は添付参照)

## 春のうららの鎌倉岳ピストン 今回の山旅の最高線量値=1.5 $\mu$ Sv/h

鎌倉岳は、フクイチから西方W280°、直線距離で30.8km、標高967mの山である。山名は、鎌倉武士が奥州征伐の帰りにここに住み付いたため、とも言われている。福ちゃんは、この阿武隈高地の山旅には、いつもある心配がある。それは、外部被爆や内部被爆の心配ではなく、その山への入山規制・入村規制があるのか、と交通のアクセス(路線バスやタクシーの便)がどうなっているのかの心配である。路線バスの運行状況は、ネットで調べてみていてもいまいちはっきりしない。今回もそういう不安を抱きつつも行けるとこまで行ってみようと思いつき出掛けることにする。今回の鎌倉岳は、田村市の東方(旧常磐町)にある。田村市は2005年に田村郡滝根町、大越町、都路村、常磐町、船引町の5町村が合併し誕生した市で、福島県中通り最東端に位置する。市名の由来は、坂上田村麻呂からとある。旧都路村は、2011年3月12日に全村「避難指示区域」となり、2014年4月1日に全村避難指示が解除された。

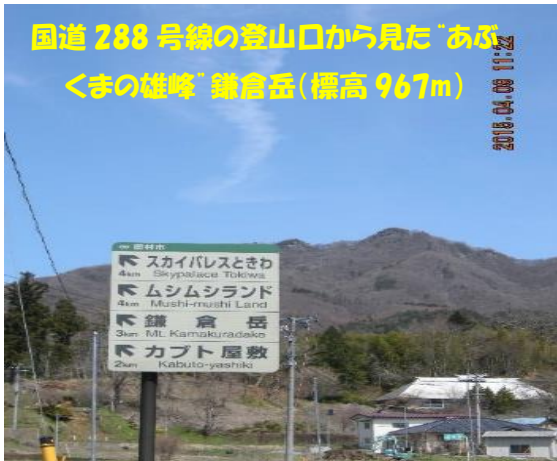
### 2015年4月9日(木)晴

福ちゃんは、いつもの日帰り登山のスタイル、アタックザックの軽装でJR酒々井駅6:38発の電車に乗る。普通は一番早い始発電車(5:05)に乗るのだが、今回は「駅すばあと」で調べた結果では、磐越東線「船引」駅へは東北新幹線を使ってもこれが最速のケースであった。千葉駅と東京駅で乗り換えて予定通り郡山に着き、ここで磐越東線に乗り換える。東京駅でも郡山駅でもJRのキャンペーン『福が満開、福のしま』のポスターが目につく。このところ数日天候不順であったが、今日は久しぶりの晴天である。今日は平日であるので電車は空いている。桜のつぼみは大分膨らんでは来ているが、まだ開花には少し早い。それでも磐越東線の三春駅では20~30人の観光客(みんな中高年)が降車する。“日本三大桜”の名所・三春滝桜へは、JR三春駅からシャトルバスが運行されているとか。三春駅で乗客が下りると電車は急にガラんと静かになる。

10:21 予定の時刻通り磐越東線「船引」駅に着く。駅の売店(KIOSK)の人が田村市の観光ガイドブックと船引駅前からの福島交通バス時刻表を呉れる。その時刻表を見ると鎌倉岳方面へのバスは、一日に6本しかない。それで駅前に停まっていたタクシーの運転手さんに帰りのためにタクシー会社の連絡先を聞いて置く。

10:45 に予定通りバスが着く。このバスに乗ったのは福ちゃん以外にはたった一人だけ。途中数人のお客さんの乗降があったが、皆お年寄りばかりである。

11:12 予定通りの時刻に鎌倉岳の登山口にあたる[山根小学校前]バス停に着く。もちろんここで降りたのは福ちゃん、ただ一人である。直ぐに登山靴の靴紐を締めて出発。(ここでの空間線量は0.20 $\mu$ Sv/h)

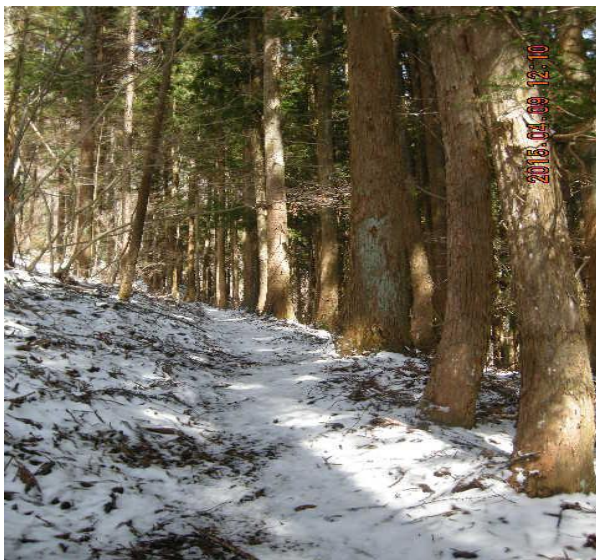


しばらく静かなノンビリした村落を歩くと、比較的最近舗装されたと思われる林道と山道への分岐点に差し掛かる(11:45)。



舗装林道から中央の尾根道(登山道)に入る(写真右)(この地点の線量  $0.88 \mu\text{Sv/h}$ )。

福ちゃんの腰に付けた線量計は、山道に入るとピーピー鳴り始める。福ちゃんの線量計のアラームは、 $0.30 \mu\text{Sv/h}$ に設定されているからである。



杉林の山道に差し掛かると昨日降った雪が解けずに残っていた(写真左)。この辺りが今回最高の放射線量値( $1.5 \mu\text{Sv/h}$ )を示す。

この値は、年間になると  $2.19\text{mSv/y}$ (ミリシーベルト/年)であり、国の目標値である  $1\text{mSv/年}$  よりも倍以上も高い。



12:38 鎌倉岳山頂(967m)到着。久しぶりに好天気恵まれ、360度の展望を楽しむ。写真を撮り、行動食の昼食を取る。



左の写真は鎌倉岳山頂の三等三角点上の福ちゃんの線量計。ここでの線量値は、風の影響か?  $0.31 \sim 0.45 \mu\text{Sv/h}$ を行ったり来たり変動する。



←山頂にある天日鷲神社の祠の北面には前日降った雪が残っていた。



鎌倉岳の南南東 8 km 先、桧山(922m)高地には 14 基の風車が見えた→

**写真中央(山と山の間)、遠く微かに白くフクイチが見えた。↓**



13:28 鎌倉岳、下山開始。帰りの電車のこともあり、途中休憩することもなく一気に登山口の[山根小学校前]のバス停まで下る。(14:22 着) JR 船引方面へのバスは、16:10 発しかない。タクシー代を安く上げるために船引方面に向かって国道 288 号を歩くことにする。歩きながら今朝、船引駅で聞いて置いたタクシー会社に電話し、迎えに来てくれるように依頼する。[山根小学校前]のバス停から船引方面に少しばかり歩いていると、国道沿いにフレコンバッグの仮置場が見えてきた。前回の飯館村彷徨(報告)では、飯館村の

国道・県道沿いは全てフレコンバッグばかりであったが、今回、例の黒いフレコンバッグを見たのは唯一この常磐町山根行政区(石蒔田)だけであった。

ここにはトラロープが張ってあるだけで[進入禁止]や「JIS 放射能標識」も無く、下の写真の[除去土壌の保管場所]の張り紙(ビニール製)が貼ってあるだけだった。飯館村



では、放射能測定器(三菱電機製)が汚染土 〇〇Bq/kg の記載があったのだが、これにはその記載がない。この辺りの法律はどうなっているのだろうか。石油化学製品(例えば、ガソリン)の危険物の保管場所などは、必ずその名称や保管容量(kl)などを表示しなければならないのだが・・・

この標識には、「山根行政区(6 号組その1)」とあるので、この

他にも数地区かに仮置場あると言うことだろう。

15:05 国道 288 号沿い常磐町山根石蒔田と言うところを歩いていると東部自動車(合資会社)のタクシーが迎えに来てくれた。地方に行くと、地元の情報を一番手っ取り早く聞けるのは、大体においてタクシーの運転手さんである。だが、原発のことを即座に聞くのははばかれる。福ちゃん、おもむろにこの土地柄の事や鎌倉岳ことから語り掛ける。そして、「この辺りには今も避難されている方はいらっしゃいますか」と聞いてみた。タクシーの運転手さん、「サー、その辺り事はわかりませんが、いま国は帰還者には一人当たり 90 万円(帰還奨励金?)、4 人家族なら 1 世帯 360 万が貰えるそうだ。避難中の人には一人当たり月 10 万円、7 人家族で 1 世帯年間約 1 千万円も貰っている人もいる」だと。避難地区と非避難地区との差に不満げな言い方であった。福ちゃん、この話の真偽は確かめていないが、これが事実とすれば福島県民の気持ちは複雑だろうなー、と思う。

(添付参照 [毎日新聞切抜 2015.04.05](#))

15:00 田村市庁舎の前の通りに着く。国の補助金が豊富なのか? 市庁舎は新しく、市庁舎前の道路は工事中で少々交通渋滞なので、また、電車の発車時刻までに余り余裕が無いので、そこから船引駅まで歩く。駅に着くとすぐに今朝バスの時刻表と田村市のガイドブックを呉れた KIOSK で、「ザ・プレミアムモルツ」¥270 を奮発買い込み、電車に乗り込む。平日なので電車はがら空きである。これからはまたいつものように福ちゃんの鈍行電車乗り継ぎのスローライフの旅である。JR いわき駅では、まだ少し飲み足りないのでブラックニッカ小瓶(180ml)を買い込み、沿線の田園風景をのんびり眺めつつ、持参の酒の肴でチビリチビリと帰路へ。磐越東線から常磐線、成田線へと、JR いわき→勝田→安孫子→成田駅でそれぞれ乗り換え、予定の時刻通りにわが町・酒々井に着く。 ー完ー

【備考】 国(環境省)の除染実施(方針)定義

避難指示解除準備区域 = 年間積算線量 20 ミリシーベルト以下となることが確認された地域

居住制限区域 = 年間積算線量 20 ~ 50 ミリシーベルトの地域

帰還困難区域 = 年間積算線量 50 ミリシーベルト超の地域

これは、ICRP(国際放射線防護委員会)の考え方に依るものだと。(添付参照 [環境省【除染情報サイト】からの抜粋](#))